

# 絶景を描く

—江戸時代の風景表現—

2022

9.10(土)→

10.23(日)

※一部展示替え予定 前期：9.10(土)→10.2(日)  
後期：10.4(火)→10.23(日)

開館時間＝10:00～17:30(展示室への入室は17:00まで)

休館日＝月曜日(ただし9月19日と10月10日は開館し、翌日休館)

観覧料＝一般800円(600円)・70歳以上400円(300円)・大学生以下無料

※( )は前売りおよび団体料金 ※収蔵品展、ロダン館も併せてご覧いただけます。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料。

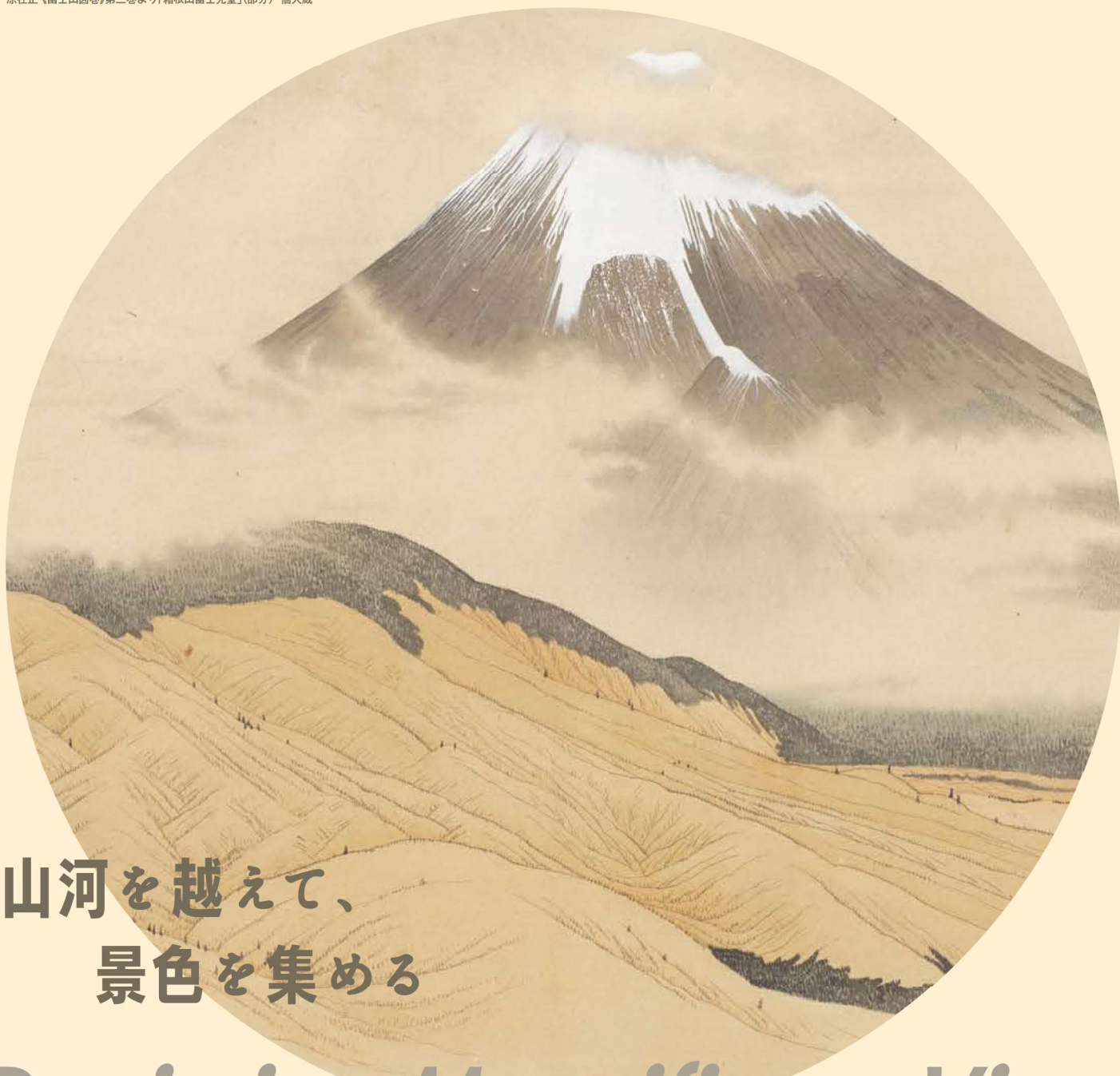
ご観覧に際し、日時指定予約の必要はございません

主催＝静岡県立美術館 新型コロナウイルス等の感染症対策のため、展覧会会期等を変更する場合があります。最新情報については当館ウェブサイトをご覧ください。

静岡県立美術館

Shizuoka Prefectural Museum of Art

原在正《富士山図巻》第三巻より「箱根山富士見臺」(部分) 個人蔵



山河を越えて、  
景色を集める

*Depicting Magnificent Views*  
*Landscape Expression in the Edo Period*





原在正《富士山図巻》第三巻より「箱根山富士見臺」個人蔵

日本列島の津々浦々に点在する素晴らしい景色は、古くから人々の目を楽しませ、描かれてきました。この展覧会では、当館および個人所蔵作品などから、各地の絶景を描いた江戸時代の絵画を中心に展示します。

本展では、いくつかのセクションに分けて、絶景の魅力を読み解きます。はじめに、古くから和歌に詠まれてきた名所を題材にした作例をご覧ください。続いて、関西の南画家たちによって試みられた各地の名勝を理想化する表現、関東の画家たちが中心となって追究した迫真的表現などに注目します。展示の最後には、作品の題材となった風景が辿った歴史にも迫り、風景表現の展開を異なる観点からご紹介します。画家たちが追い求めた絶景を巡る旅をご堪能ください。

## みどころ

### 1▶ 江戸時代の風景を描いた名品を一望できます

本展には、江戸時代に各地の絶景を描いた珠玉の作品が集結します。なかでも富士山を描いた図は、富士山のある静岡県に所在する当館が、開館以来収集してきた名品を厳選し、江戸狩野派から関西画壇の諸派まで、様々な画家たちによる作品を展示します。それぞれの作品の特徴を比較しながらご覧ください。



狩野探幽《富士山図》当館蔵

### 2▶ 富士山をテーマにしたふたつの大作を比べてご覧いただけます



原在正《富士山図巻》第五巻より「駿河元市場眺望」個人蔵



歌川広重《不二三十六景》より「駿河富士沼」当館蔵 ※前期展示

原在正《富士山図巻》(個人蔵)と歌川広重《不二三十六景》(当館蔵)という、様々な場所から眺めた富士山を描いた二つの大作を比較展示します。両作品を比較すると、富士山のビュースポットが様々な場所にあったことが体感できます。横幅を自由に設定できる画卷と、寸法が一定である中判錦絵というそれぞれの画面形状を活かした構図の工夫にもご注目ください。

### 3▶ 絶景の舞台に迫ります



椿椿山《山海奇賞図巻》(部分) 当館蔵

東海道沿いの富士見の名所をはじめ、宮島など日本三景にも選ばれるおなじみの景勝地、さらには遙か伊豆諸島まで、出陳作品の題材となった場所は全国各地に及びます。一部の作品については、描かれた風景に関する現地での調査結果も交え、画家が風景をどのように捉え、どのように描いたのかをご覧ください。

## 会期中イベント

### 館長美術講座

#### 「真を写す人—絵画と写真の話」

10月10日(月・祝) 14:00~15:30

本展覧会のテーマを、館長独自の視点で掘り下げます。

講師：木下直之(当館館長)

会場：当館講堂

参加無料、申込不要

### フロアレクチャー

9月18日(日)、10月1日(土) 各日 14:00~

展示室で担当学芸員が解説を行います。

集合場所：本館第1展示室

要観覧券、申込不要

### スライドトーク

#### 「絶景誕生の舞台裏」

9月25日(日) 14:00~15:00

担当学芸員が、一押し作品の隠された

魅力を紹介します。

会場：当館講座室

参加無料、申込不要

### わくわくアトリエ

筆ペンや水彩などを使い、パノラマの風景画を描きます。

9月18日(日) 10:00~16:00頃

講師：夏目幸弘氏(造形作家)

対象：小学生から大人まで

会場：当館実技室 要参加費、要事前申込

※申込方法・内容詳細は開催日の約1か月前に、当館ウェブサイトや館内配架チラシでお知らせします。

### 実技講座

伝統的な日本画材を使い、パノラマの風景画を描きます。

10月15日(土)、16日(日) 10:00~16:30頃

講師：森谷明子氏(日本画家)

対象：中学生以上の個人

会場：当館実技室 要参加費、要事前申込

<次回展覧会> 「みる誕生 鴻池朋子展」11月3日(木・祝) - 2023年1月9日(月・祝) | <静岡市美術館 展覧会のお知らせ> 「出版120周年 ビーターラビット™展」9月15日(木) - 11月6日(日)

# 静岡県立美術館

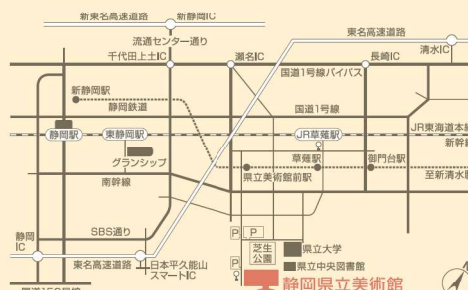
Shizuoka Prefectural Museum of Art

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2

ウェブサイト <https://spsmoa.shizuoka.shizuoka.jp>

お問合せ 総務課 Tel. 054-263-5755 Fax. 054-263-5767

学芸課 Tel. 054-263-5857



### ■ チケット販売所

[前売・当日券] チケットぴあ、セブンイレブン(Pコード共通:686-110)、ローソンチケット、ミニストップ(ロード共通:42917)、セブンチケット、GNプレイガイド(ファミリーマート)、静岡県立美術館  
[前売券のみ] 戸田書店(江尻台店)、谷島屋(ハルシェ店・マークイズ静岡店)、大丸坂屋友の会、静岡県庁本館1階売店、静岡市美術館ミュージアムショップ、グランシップ、JR草薙駅前一部店舗

### <交通案内>

- ・JR[草薙駅]県大・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分
- ・JR[静岡駅]南口からタクシーで約20分、または北口から静鉄バスで約30分
- ・JR[東静岡駅]南口からタクシーで約15分、または静鉄バスで約20分
- ・静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約15分、または静鉄バスで約3分
- ・東名高速道路・静岡IC、清水ICから車で約25分、日本平久能山スマートICから車で約15分、新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分